

新潟県地域医療構想の実現に向けた取組

医療機関名	医療法人社団 たかき医院
現時点での圏域における当該医療機関の役割 （他医療機関との機能分担や連携のあり方等を踏まえ、具体的に記入）	地域のかかりつけ医として、外来、入院、特に産科（分娩）医療を担っている。また近隣8市町村と契約し、「産後ケア」事業を行っている。高度な急性期医療が必要な場合は、魚沼基幹病院、長岡市等の病院と連携し対応している。
病床の減少等が地域医療構想の達成に必要な（地域医療構想に資する）と考える理由	地域の人口減少に伴う分娩数の自然減により病床稼働率が低下していることを踏まえ、需要に合わせた病床数の適正化を図るものである。
今後の圏域における当該医療機関の役割 （病床の減少等を実施することで、当該医療機関の圏域における役割、他医療機関との機能分担や連携のあり方等がどう変わるかを具体的に記入）	急性期病床を17床から1床削減しても地域における当院の役割に大きな変化は無いと思われる。病床を廃止したスペースは産後ケア専用の部屋として活用し、「産後ケア」（日帰り型、宿泊型）にも力を入れながら、引き続き地域のかかりつけ医としての役割を担っていく。
病床の減少等のスケジュール	令和7年2月より1床削減（急性期17床→16床）し、余剰スペースは各種ケアに特化した部屋として利活用している。